

— 女性活躍に関するアンケート（令和元年度概要版）—

伊那商工会議所・伊那市

人口が減少し、働き手が不足する中、多様な人材の活躍が求められています。

中でも、人口の約半数いる女性は、貴重な「人財」として期待されています。

この地域の女性の活躍は、どんな状況でしょうか？ 働く場所では、何が求められているのでしょうか？

【目的】 女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスについて意識調査を実施することで、今後の事業活動に役立てる。

【調査時期】 令和2年2月4日～3月10日

【方法】 郵送（回答：郵送）

【対象】 伊那商工会議所会員企業、伊那商工会議所会員企業従業員の女性、伊那市子育て支援センター利用者の女性

【結果のポイント】

- ① 女性の活躍推進については、「推進している」「賛成」が多い。企業 73.8% 女性 82.6%
- ② 自身の活躍については戸惑い。
「自身が活躍したい」40.9% 「管理職への打診があれば受けてみたい」13.3%
- ③ 女性活躍の推進のために企業が取り組んでいること「勤務時間の柔軟化」20.9%
女性が必要と思うことは「出産・育児休暇がハンディとならない人事制度導入」19.3%
- ④ ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことは「勤務時間の柔軟化」企業 26.2% 女性 36.6%

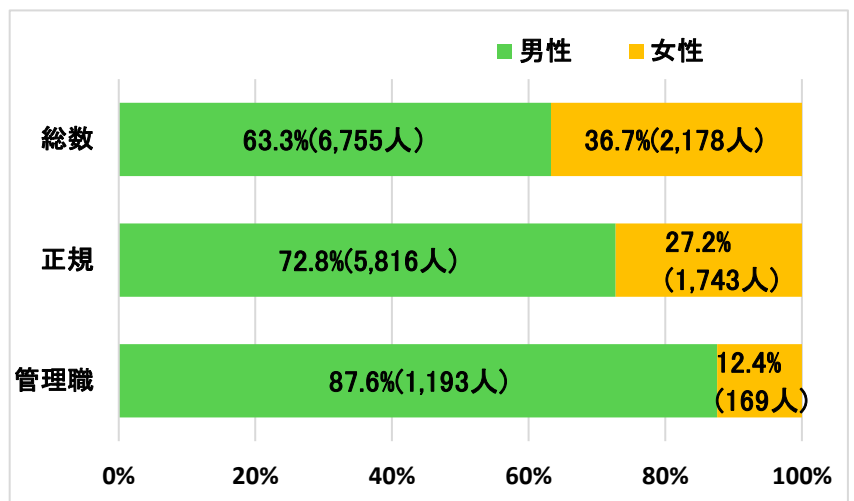
【企業】

回答数 290社

<業種>

農林漁業	2	0.7%
建設業	46	15.9%
製造業	61	21.0%
情報通信業	4	1.4%
運輸業、郵便業	3	1.0%
卸売業、小売業	63	21.7%
金融業、保険業	18	6.2%
不動産業、物品賃貸業	6	2.1%
飲食宿泊業、サービス業	44	15.2%
医療、福祉	9	3.1%
その他	34	11.7%
合計	290	100%

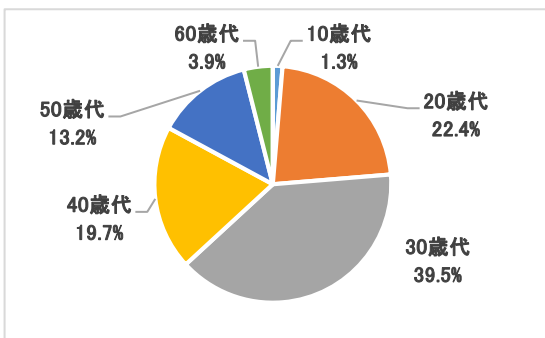
<回答 290 社の雇用者男女比と正社員・管理職数>



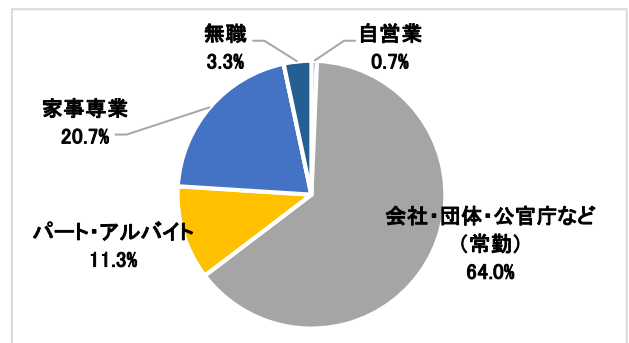
【女性】

回答数 152人

<年代>

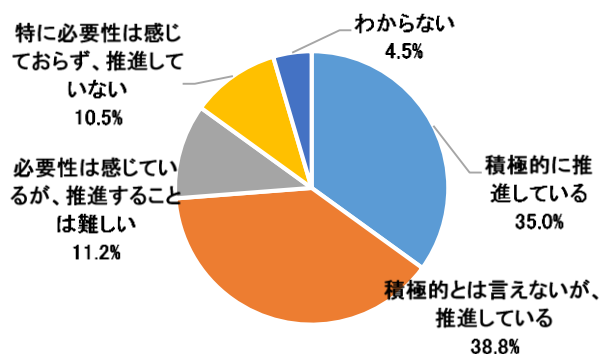


<職業>

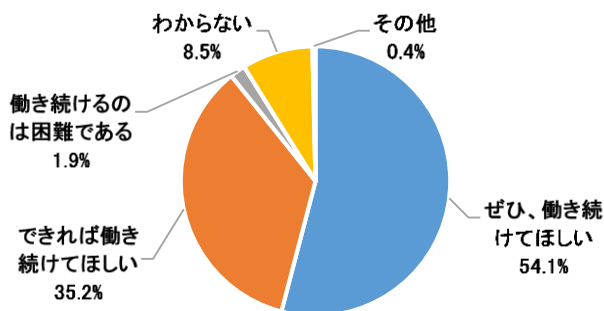


〔企業〕

【問】女性の活躍推進についてどのように考えていますか



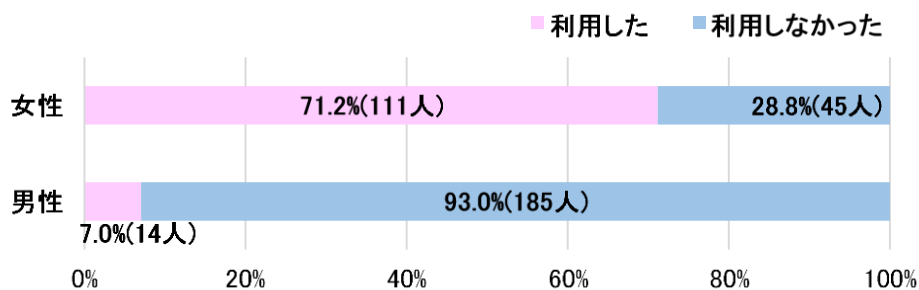
【問】女性が、結婚、妊娠・出産の後も就業を継続させることについてどう思いますか



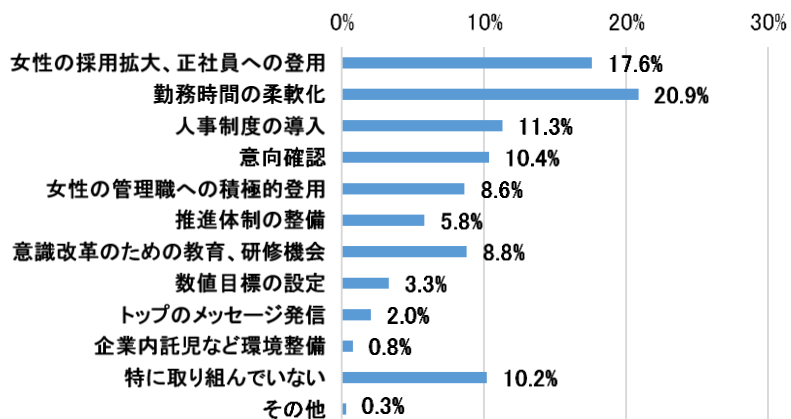
【問】育児休業制度を利用した人は

何人ですか

対象従業員	女性	156人
	男性	199人



【問】女性の活躍推進のために、取り組んでいることはありますか

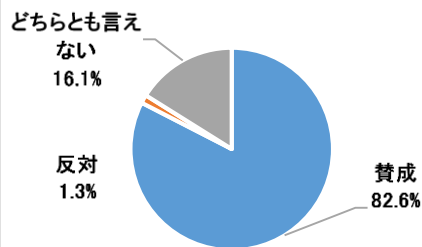


自由記述

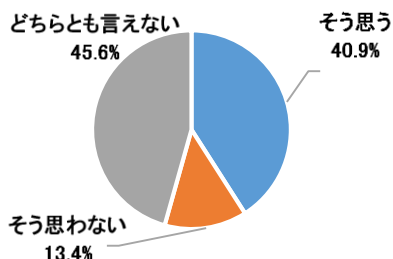
- ・この問題は企業力だけでは限界がある。社会全体で女性に偏った家事、育児の風土を変えていく事が鍵になる。男性の育休取得者及び企業に対して相応の補助金を助成するなど柔軟なお金の使い方をしていく事で、企業の対応も変わっていくと思う。
- ・夫の転勤や育児への夫の協力が得られない状況では、女性が仕事を続けることが困難になってしまう。男性の仕事の環境も整える必要があると感じている。
- ・育児の終わった女性が介護に係わるようになるケースが多く、介護の女性負担が大きいように思える。

〔女 性〕

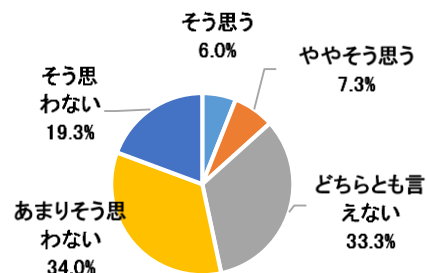
【問】女性の活躍推進という政策について、どう思われますか



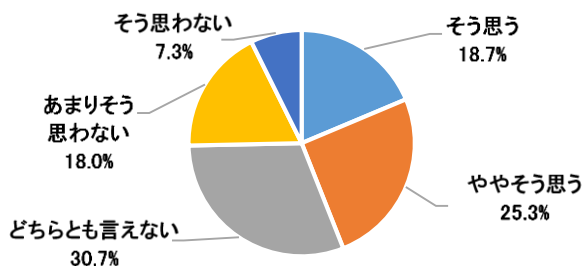
【問】あなた自身は活躍したいと思いますか



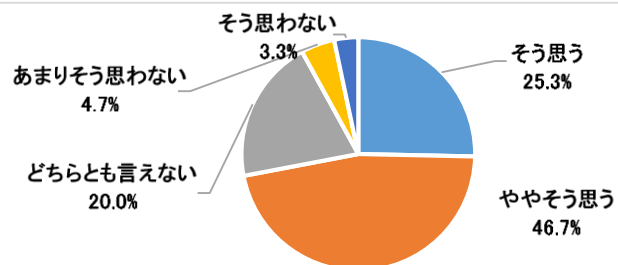
【問】管理職への打診があれば受けてみたいですか



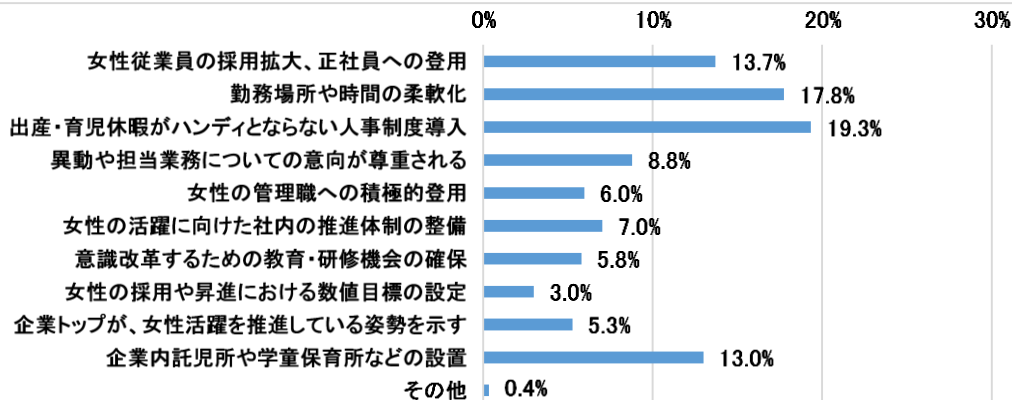
【問】今後仕事を続けてキャリアを積んでいきたいですか



【問】女性が社会で働くには不利な点が多いと思いますか



【問】女性の活躍推進のために、働く場所に必要なことはなんですか



自由記述

- ・女性ならではの発想が活かせる仕事が増えると良いと思う。仕事でキャリアを積みたい気持ちもあるが、やはり家の生活とのバランスが保てないとうまくいかないと思う。
- ・女性には2通りの考え方をしている人があると思う。自分の生活スタイルに合った働き方を望む人、役職について上を望む人。上を望まない人に役職を与えるのは苦痛だと思うので、個人の働き方を尊重して働けるのがより良い形での働き方改革なのではないか。
- ・出産や育児等による休業がハンディとならない人事制度の導入がすごく大切だと思う。勤続年数も重要ですが、実際の働きぶりがもっと評価されると公平性があると思う。

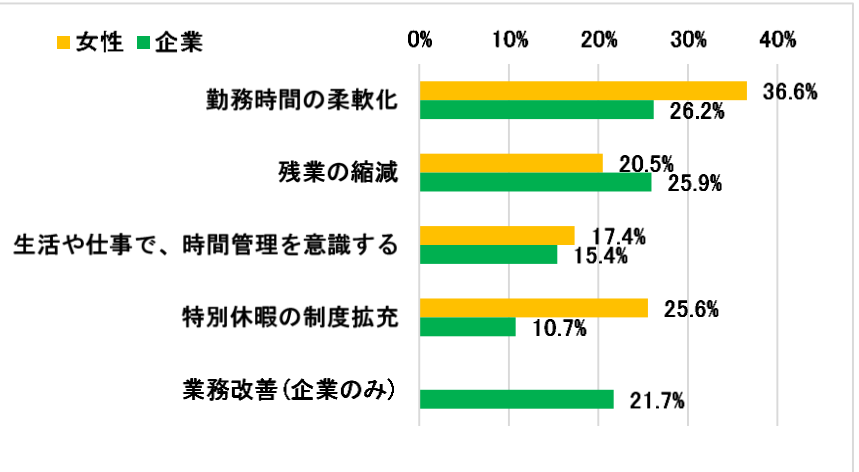
2 ワーク・ライフ・バランスについて

〔企業〕

【問】ワーク・ライフ・バランスの推進につながる取組をしていますか

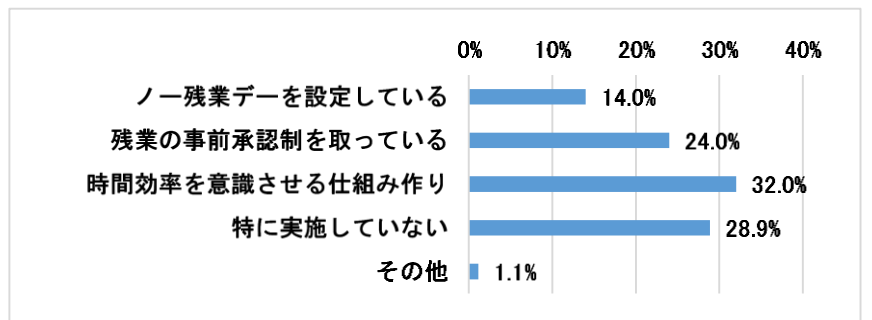
〔女性〕

【問】ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことはなんでしょうか



〔企業〕

【問】残業を削減するために取り組んでいることはありますか



*すべての調査結果は、伊那市公式ホームページからご覧いただけます。

仕事と家庭の両立を目指して

「女性活躍推進法」に基づいた施策



「えるぼし認定」は、女性活躍推進法に基づいた一般事業主行動計画を策定し国に届出た事業主のうち、取組の実施状況等が優良な事業主が国に申請することで、厚生労働大臣から受けられる認定です。

「えるぼし認定」は3段階あり、認定を受けた事業主は認定マーク(愛称「えるぼし」)を商品や広告、求人票などに使用することで「女性活躍推進企業」をアピールできます。また公共調達を実施する場合、加点評価を受けられます。



「くるみん認定」は、次世代育成支援対策推進法に基づいた一般事業主行動計画を策定し国に届出た事業主のうち、一定の要件を満たした事業主が国に申請することで、厚生労働大臣から受けられる認定です。「くるみん認定」より取得が難しい「プラチナくるみん認定」もあり、認定を受けた事業主は認定マーク(愛称「くるみん」「プラチナ

くるみん」)を商品や広告、求人票などに使用することで「子育てサポート企業」をアピールできます。

また、税制優遇措置(くるみん税制)などがあります。



「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証制度とは、仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や、雇用の安定を進め従業員がいきいきと働き続けられるよう短時間正社員制度など多様な働き方等の制度を導入し、実践的な取組を行っている企業・法人・団体・個人事業主を認証する制度です。また、認証企業はホームページによる発信等で県民に広く周知します。